

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	長崎・セントポール姉妹都市学生交換事業共催費負担金			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	長崎市	文化観光部国際課	紺家	095-829-1113
事業期間	開始年	昭和50年4月1日 (43年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[長崎ロータリークラブとの共催]			
実施期間	(開始日)平成30年4月1日 (完了日)平成30年3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	アメリカのセントポール市の高校生		長崎市に受け入れ、日本の言語、文化、習慣を学ばせるとともに、市民との交流を深めることで日米両国の親善と相互理解に寄与する。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	長崎市とセントポール市の交換事業で、セントポールから派遣された高校生の受入滞在経費を長崎市と長崎ロータリークラブで折半する。(長崎市からセントポール市に派遣する高校生については、セントポール市側が受け入れる。) 長崎滞在中は長崎ロータリークラブのロータリアン宅にホームステイさせ、長崎市内の高校に通学するとともに、地域の行事などに出席する機会を設け、積極的に市民との交流を図る。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	昭和50年、長崎市とセントポール市との姉妹都市20周年を記念して、若い世代の相互理解と国際社会への貢献を促進するために開始した。			
	(経緯・現状)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・1975年～ 毎年、両市間で留学生をそれぞれ1名ずつ相互に派遣。 ・1999年～ 留学生の派遣を1年ごとに変更。 			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		268,327	709,655	281,142				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	54,327 (市文化国際交流基金)	248,655 (市文化国際交流基金)	114,142 (市文化国際交流基金)				
	市町振興共同事業助成金	214,000	461,000	167,000				
	一般財源							
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	派遣・受入を行った交換留学生の数の数	留学生を相互派遣・受入することで両市間の交流に寄与する人材が育成させるため。	人	目標	1	1	1
					実績	1	1	1
				目標達成率 (%)	100	100	100	
	②				目標			
					実績			
				目標達成率 (%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性)	(必需性)	
	<input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 当該事業による交換留学体験者のなかには、成人後も両市間の交流にかかわっている者もあり、事業を廃止した場合には、両市間の交流を推進することのできる人材を育成できなくなる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		留学生の派遣・受入は、目標どおり毎年行われている。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 学生への周知方法を検討する余地がある。	
実施予定 期 日			
有効性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		当該事業は、姉妹都市関係を基に、両市のロータリークラブが主体となって30年以上にわたって実施されており、類似事業はない。
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		民間(ロータリークラブ)と行政の共催により実施している事業であり、民間に委託するべきものではない。
効率性の点検	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		
実施予定時期					<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					